

技術力の向上と人材開発に関する調査結果報告

研究担当者

泉 輝 孝

序

高品質、高付加価値製品への志向が強まる中で、技術力の向上は、企業にとってますます重要な経営課題となっている。この技術力向上のために、企業がどのような人材を求め、育成しようとしているか、また、公共職業訓練施設が企業の技術力向上を支援するためにどのようなサービスを提供してゆけばよいのか、これが本報告書の問題意識である。

調査によって明らかにされた事実は、多岐にわたるが、著者が特に強調している点は、次の3点である。

まず、第1は、最近のマイクロエレクトロニクスを中心とする技術革進の急速な進展に伴い、生産現場において、生産管理、品質管理、設備の開発・改善保全等の領域で技術と技能の両方を有する技術的技能者、いわゆるテクニシャンの役割が高まっていることである。

第2は、そのテクニシャンを欧米のように技術者と技能者の中間に位置する第三の категорияとしてではなく、技術者、技能者それぞれがその役割を担う柔軟な職務編成方式のほうが、生産現場のフレキシビリティを高めるだけでなく、技能者のキャリア充実化および技能者の威信の向上に役立つということである。

第3は、テクニシャン育成のために、企業内職業訓練短期大学校の設置を促進するとともに公共職業訓練短期大学校を拡充し、また、在職技能者の技術力向上のために技能開発センター等における向上訓練を拡充することである。

本報告書を、技術革新時代の企業内・公共両分野における労働者の職業能力開発のあり方を考える上で参考にして頂ければ幸いである。

最後に、調査の実施に当たり、忙しい時間を割いて御協力を頂いた事業所の方々に対し、深く謝意を表する次第である。

昭和60年10月

職業訓練研究センター

所長 多賀谷 敏夫

訓研調査研究資料

第 63 号

技術力の向上と人材開発に関する調査結果報告

発 行 1985年11月

発行者 職業訓練研究センター
所長 多賀谷 敏 夫

〒229 神奈川県相模原市相原1960
電話 0427 - 61 - 9911(代)

印 刷 旭 印 刷
相模原市上溝4 - 16 - 23
電話 0427 - 61 - 3488